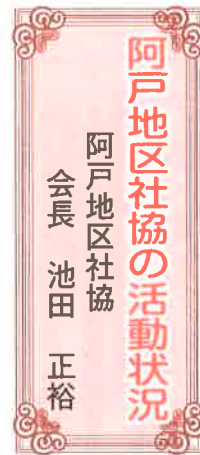




会報第151号
 令和4年12月23日発行
 阿戸地区社会
 福祉協議会
 広島市阿戸福祉センター内
 電話 856-0294

阿戸町の世帯・人口
 世帯数 927戸
 人口 1,934人
 男 932人
 女 1,002人
 (令和4年10月末現在)



阿戸町の令和4年3月31日現在の
 高齢化率は38・00%（前年比+
 1・78%）となり、少子高齢化が
 進んでいます。

このような情勢の中、阿戸地区
 社会福祉協議会は各種事業を展開
 しておりますが、令和4年度に
 入っても新型コロナウイルスの影
 響は収まりません。社協最大の行
 事の敬老会は、今年も中止とい
 いました。しかし、敬老会の意義
 は継続したいため、米寿の方14
 人、そして新規に招待する75歳
 の方54人のそれぞれのご自宅へ、民
 生委員さんに記念品を届けてい
 ただきました。

一方、声かけ・見守りで安否を
 確認する「支え合いあーとネット
 事業」、住民主体型生活支援訪問
 サービス「あと協力隊」等は関係
 者の協力を得た着実な活動で、対
 象者には大変喜ばれております。

11月22日の「いい夫婦の日」に
 は、めでたく金婚を迎えられた4
 組のご夫婦にお祝い状と記念品を
 贈呈いたしました。

おめでとうございます
 金婚式

今年度も後約4ヶ月となりまし
 たが、計画通り実施を予定してい
 る行事もあります。ご理解とご支



11月22日 いい夫婦の日

援をどうぞよろしくお願いいたし
 ます。



各部会の活動状況



地域福祉部会

部会長 池田 正裕

令和4年度がスタートして約8ヶ月が経過しました。

新型コロナウイルスの影響はまだ続いておりますが、今年は3年振りに、地域福祉懇談会を開催することができました。阿戸地区社会福祉協議会へのご理解を深めて頂くこと、福祉ニーズや要望等をお聞きすること等を目的とした懇談会ですが、6月から7月にかけて、5つの町内会の役員会へ会長と当該町内会の地域福祉部会員が出席し、阿戸町の少子高齢化の現状、それを受けての社協の活動等について説明をしました。対面での懇談会の開催にご協力をいただいた町内会の関係者に感謝しております。

イベントの内容を拡充するために活用を予定していた「地域団体連携支援基金」は、新型コロナウイルスの影響で各種の地域イベントが中止になったため、申請はしませんでした。



高齢者・ボランティア部会

部会長 出口 勝紀

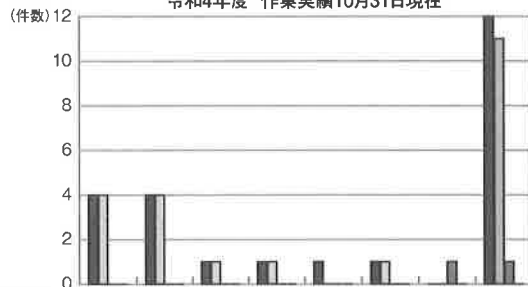
8月と9月に予定していま

た「住民福祉講座」は、新型コロナウイルス感染症第7波の急拡大の影響を受け、中止せざるを得ませんでした。

一方、猛暑日が続いた今年も、支え合いあーとネット事業については、感染防止対策を徹底し、対象者の安否確認を継続する中で、8月、9月は「栄養補助食品」を持参して訪問して、喜んで頂きました。

現在の対象者は、29名、協力

令和4年度 作業実績10月31日現在



依頼者	A	B	C	D	E	F	G	合計
■草刈り	4	4	1	1	1	1	0	12
□刈った草の処理	4	4	1	1	0	1	0	11
■ガラス磨き	0	0	0	0	0	0	1	1
□電球交換	0	0	0	0	0	0	0	0

その他「あと協力隊」に相談されたケースで、活動の対象外として①庭木などの剪定 ②枝落とし ③庭木の伐採などがある。また④ハチの巣の撤去⑤耕運機の操作方法の指導⑥庭以外の空き地の草刈りなどがある。これらは依頼者の希望により、専門業者を紹介している。耕運機の操作方法については、登録ボランティアが対応して指導した。

員は13名です。

また、住民主体型生活支援訪問サービスマ「あと協力隊」は、その殆どが庭の草刈り・草取り、さらに刈った草のゴミ処理作業で、年末近くなると窓ガラス磨きの依頼があります。



児童・障害児者部会

部会長 田中 秀昭

児童・生徒と地域の皆さんとのふれあいを通して、いろいろな事を学び成長のお手伝いをするために年間計画を立てております。

しかしながら、長引くコロナ禍の中で、計画通りに実施できておりません。

「小学入学記念品贈呈」はできましたが、人と人とのふれあい事業は感染予防対策を徹底しながら行うにしても難しい面があり、上半期の「福祉教育推進会議」「子供と高齢者との交流会」はやむなく中止とさせて頂きました。「くにくさ苑との交流会」「親子の集い」につきましては検討中であります。

下半期予定の11月10日に「中学3年生と高齢者との交流会」、12月15日に「中学1年生とのしめ飾り作り」、令和5年3月12日に「中学3年生卒業記念品贈呈」は実施してまいります。

阿戸っ子のパワーを感じた合同文化祭

令和4年10月23日(日) 阿戸小中一貫教育校

校長 石田 真佐美



感染症対策を行いながら実施した合同文化祭。これまで、秘めていた阿戸っ子たちの力を集結した合同文化祭になった。

オープニング。文化部メンバーの息がそろったカップスの演奏から文化祭はスタートした。

続いて、こども園の園児の演技。音楽に合わせてポンポンを振る姿、鳴子を使った演技は、見ていた誰もが元氣もらうことができた。小学1・2年生は、『阿戸の唐五郎さん』の朗読劇をした。方言のクイズを取り入れる工夫も見られた。小学3年生は、『くにくさ苑の交流学習と阿戸の祭り』高齢者に向けた心温まるお手紙と阿戸盆踊りを披露した。小学4年生は、『ホタルが飛び交う阿戸町にするために』と題して、ホタルが減少している問題点、ホタルを増やすための方法を考え、発表した。小学5・6年生は、『合奏』をした。ぎりぎりまで曲の仕上がりにこだわっていた本番は、会場を一つにするパフォーマンスをし、文化祭を盛り上げることができた。中学1年生は、『職業調べ』で、歌手、保育士の仕事について紹介した。下学年の児童にもわかるように、

タブレットを使用し、図、絵を用いて紹介したり、クイズをしたりわかりやすい内容だった。中学2年生は、『農業体験』で学んだり、考えたりしたことを発表した。学校の授業などを頑張っておくことが、将来につながることを実感し、これからの学校生活に生かしていきたいと決意を述べた。中学3年生は、『阿戸町活性化計画@Future』と題して発表した。阿戸の課題について、カテゴリーを学校、少子高齢化、ライフライン、自然とし、それぞれの解決策、改善策など斬新な内容で、会場の人たちをひきつけた。私自身生徒の発表を聞き、考えていかなければならない課題に気づくことができた。

中学生の自由発表。今年は2グループが歌、1グループがダンスを披露した。普段の学校生活では見ることができない生徒の一面を見ることができた。

当日の進行は、もちろん児童生徒。舞台の準備片付けも生徒で行った。前日の展示の準備、会場準備、校内の清掃も児童生徒の手で行った。文化祭のすべての場面で、秘めたる阿戸っ子の力を見せつけられた時間となった。

阿戸っ子による阿戸の文化の継承と創造、阿戸の将来を考えることができる合同文化祭となった。来年こそは、制限なく町内の多くの皆さんに、阿戸っ子の力を生で



感じ取っていただきたいと願うばかりだ。

■小学4年 藤川 えみり

私達4年生は、阿戸のホタルが今ものすごく減っていることを知り、ホタルのために何ができるのかを考えました。そして、そのことを阿戸町の人達に知ってもらえるように、文化祭当日ぎりぎりまで一生けん命練習しました。

私は「よし」という草について発表しました。私が一番知ってほしいことは、豪雨災害やその被害を直す工事でホタルの産卵場所となる「よし」が無くなっていることです。卵を産めないため、ホタルは激減してしまい、危機が訪れています。その危機を解決するために、私達はいろいろな提案をしました。例えば、①よしを刈らない、②除草剤をあまりまかないなどです。このことは、自分達だけではできないかもしれないですが、考えたことを呼びかけることで、少しでもホタルのためになればいいなと思います、自分達にできることを発表しました。来年は、今年よりホタルが増えてほしいです。

■中学2年 上早稲 心花

午前9時。「パプリカ」の陽気なメロディが流れ、幕が上がりました。徐々にながっていく幕は、私の緊張のバロメーターそのものでした。大丈夫、練習通りやるだけだから、と思った私の頭にある疑念が生じま

した。

「どうして人が多いというだけで緊張するのがろうか。」文化部での練習の時だって、少人数だけど人がいて、ちゃんと通して演奏するときにはやり直せません。今と同じような状況だったはずですよ。

普段やらないことをやろうと思いい、ボーカルとギターをやることにしました。既にその時から、自分はずいぶん挑戦をしていると思っていました。練習の時も毎回本気でやって、本番をイメージしました。次があるから大丈夫ではなく、次があるからこそ、よりよくするためにがむしゃらに練習しました。

私の少し不思議なところは、大人数に囲まれると気分がすぐれなかったり、吐き気がしたりするところなんです。でも、それを乗り越えてこのステージに立っているのは、私の誇れるところなんです。緊張しながらも歌い切って、誰かを元気づけられたらすごくかっこいい。だから何度も精一杯練習してステージに立っています。苦手なことを乗り越えた自分を見てもういたくて立っています。自分はこのくらいすごい挑戦をしているんだ。これから先、人前に立つことはどんどん増えます。そのための練習もしなければなりません。その一回一回を、とことん本気でやれるようになりたいと思います。人生一度きりのぶっつけ本番なのだから。

■中学3年 福岡 春斗

9時ぴったりに音楽がスタートし

ました。生徒会執行部として、演奏やマイク調整など、リハーサルをしておいてよかったと思いました。めくりやステージ準備など、執行部としての仕事を精いっぱいできたと思います。3年生としてのステージでは、最後の最後まで改良しつづけた動画で、みんなが笑ってくれてよかったなと思いました。楽しみにしていた自由発表では、盛り上げ役のような感じで、感想も大体イメージしておいたのが良かったです。「僕は「小さな恋の歌」&「僕のこと」、音程が難しいだろうに、毎日放課後に頑張っている成果が出たな、と感じました。collektは「彩り」という意味のフランス語で、好きな曲を踊ってくれたことが嬉しかったです。その名のとおり、彩りにあふれたダンスだと感じました。Plusは「陽はまた昇るから」&「ホール・ニュー・ワールド」の英語ですごかったです。最後の閉会のリコーダー（ホタルの光）はうまくできてよかったです。たくさんの人から高評価をいただきました。今までの一番楽しかったです。文化祭になってよかったです！





福祉センターにて子供たちを対象に秋祭りを行いました。この祭りはコロナ禍の影響でいろいろなイベントの中止が続く中、何か思い出になることをと、阿戸小中PTA、阿戸おやじの会共催で行いました。当日は天候が心配されましたが、雨も上がり良い祭り日和になりました。会場では、来場者に感染予防対策に協力していただき、飲食も楽しんでもらいました。また中高生達にもボランティアで応援してもらい、生徒たちにもよい経験になったのではと思います。飲食以外で



は、出し物としてプロマジシャン響仁さんに来ていただき、本格的な手品を披露してもらい大変盛り上がりました。最後は豪華景品の当たるお楽しみジャンケン大会を行いました。大盛況に終わりました。今回の祭りを通じて、子供たちにはよい思い出になったと思います。今後も阿戸おやじの会のスローガン『できること、できる人が、できること』を継続していきたいと思います。



善意の灯

次の方々から、ご寄付をいただきました。この善意は住民福祉活動のため、有効に活用させていただきます。

ご厚志、まことにありがとうございます。

◆ 香典の返礼にかえて

城平 敏彦 様

◆ 一般寄付

阿戸町商工会 様

● 阿戸地区社協のつぎ

9/17 敬老会 (中止)

9/28 共同募金委員会

10/1 赤い羽根共同募金開始 (12/31まで)

11/10 中学3年生と高齢者との交流会 (中止)

11/22 金婚祝い慶祝訪問

12/15 中学1年生とのしめ飾り作り

12/23 「あと社協」151発行 (今後の予定)

1月 第3回理事会

3月 正副部会長・事務担当者会議

3/12 中学3年生卒業記念品贈呈

お気軽にご相談下さい

* 第1・第3金曜日午前中 (祝日除く)

阿戸地区社協では、皆様の困りごとやボランティア活動の相談に応じています。

掃除機 かけ

ゴミだし

庭の 草刈り

など

ボランティアコーディネーターがお待ちしております!

編集後記

新型コロナウイルスの影響で、ここ3年間は町内の様々な行事・イベントが中止を余儀なくされました。この社協だよりも広報するものが殆どなく、編集会議はいつも大変でした。ただ、明けない夜はありません。

ウイズコロナ時代に入りはじめている昨今では、各地域で、様々な行事・イベントが感染対策をしっかりとした上で開催の方向となっておりまます。この阿戸町もコロナウイルスを正しく恐れ、正しく共存していく道を模索してはどうでしょうか。

(広報部会 下條 孝志)